

ToWN 企画ウォーキング (5月9日 火曜日 遠出) ビュースポット

『国分寺から貫井神社を経て野川を歩き、多磨霊園を抜けて浅間山公園に行く』 8.4 km

参加費:一般 500円 (※年間定額参加の方は除く) 9時30分 JR・西武線 国分寺駅(南口) 集合
解散地 最寄り駅:京王線 東府中駅(北口)

※年間定額参加についてはスタッフにお尋ねください

? 当日の実施有無等の状況については、右下の **ToWN QR** コード (掲示板) で、朝7時以降に確認できます!!

9日当日、雨天等の事情で中止となった場合は、13日(土)の常設コースに振り替えて、同じ内容で実施する予定です

《国分寺崖線》

国分寺崖線は立川市から、東南に向かって野川に沿って延び、大田区の田園調布付近まで続いています。延長は約30kmで、現在では、宅地化や農地化が進み、約35%の樹林地が残っているのみとなりましたが、連続した崖上、崖下の平坦地の公有化が進められています。



《野川流域の緑道》

野川は、東京都国分寺市にある日立製作所中央研究所内に水源をもつ多摩川の支流です。昔の多摩川の流れが武蔵野台地を削ってできた崖の連なりは国分寺崖線(こくぶんじがいせん)と呼ばれていますが、野川は、この崖から湧き出る湧き水を集めながら、主にこの崖に沿って流れていて、ほとんどが湧き水だということから水がきれいで、子どもが川に入って水遊びができる市内でも有数の小川です。崖から湧き出た水が小川となって野川へ流れ込んでいて、そんな数十メートルの小川の流れがたくさん見られるのも野川の特徴でしょう。



《浅間山の武蔵野キスゲ》

浅間山(せんげんやま)は、古多摩川によって削られた残丘で、府中市唯一の標高79.6mの山です。かつて陸軍の火薬庫として利用されていましたが、戦後に払い下げられ、昭和45年に、山全体が都立浅間山公園となりました。

武蔵野キスゲは、高山植物として知られる「ニッコウキスゲ」(ゼンテイカ)の低地型の変種で、東京都府中市の浅間山(せんげんやま)だけに自生している植物です。東京都レッドデータブックにも掲載されている希少種です。



次回予告:6月10日(土)『住吉~門前仲町:横十間川親水公園と清澄庭園で菖蒲を見る』 8.3 km

東京メトロ 住吉駅(A4) 9時30分 集合 解散地 最寄り駅:東京メトロ 門前仲町駅(出口1)

問い合わせ先: ToWN 事務局 尾崎 裕 090-2423-1461



ToWN QR